

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	高校生	カヴァー	奇術師
	モルフェウス			年齢	18	性別
オプション	覚醒	犠牲	衝動	加虐	初期侵食率	31 %
出自	親の理解		経験	大事故	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	1	1			4	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	0	1			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:マジック	1		知識:マジック	2		情報:噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
妖刀(ナイフ)	白兵	4r+5	4	10		経験点-20で常備化
種無しマジックその1	白兵	8r+5	4	10		カスタマイズコンセ、クリ8。侵食値4。59%未満
種無しマジックその1	白兵	9r+5	4	10		カスタコンセ、クリ8。侵食値4。60~79%
種無しマジックその1	白兵	10r+5	4	10		カスタコンセ、クリ8。侵食値4。80~99%

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ 要人の貸し	
ウェポンケース	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
変異種 モルフェウスP		N		
固定ロイス マジックの道具P	執着	N 恥辱		
固定ロイス マジックの師匠P	尊敬	N 劣等感		
シナリオロイス 糸 タイタス化P	好奇心	N 不安		
PCロイス 卯月P	有為	N 嫌気		
巫女さん 糸守綾目P	誠意	N 恥辱		
巫女妹 糸守綾瀬P	誠意	N 不安		

最大財産P:	4	残り財産P:	2
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト・モルフェウス	2	2	メジャー					
効果:	C値をLv-する							
創造の御手	2	3	メジャー		自身		シンドローム	
効果:	ダイス+5.シナリオLV回							
ドッペルゲンガー	2	5	メジャー		自身	対決	シンドローム	
効果:	対象はガードを行えない。さらに攻撃力を+5.シナリオLV回							
レインフォース	7	2	メジャー				シンドローム	
効果:	攻撃力を[Lv×2]する							
カスタマイズ	5	2	メジャー	武器		対決		
効果:	このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+Lvする							
万能器具	1							
効果:	基本的なものは作れる							
壁抜け	1							
効果:	壁をすり抜けられる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

幼い頃マジックにあこがれてその道に入った詩音。師匠に奇術師の心構えやマジックの方法などを教わっていく。もともと手先が器用であったため、師匠が教えてくれることはすぐに覚えていく詩音。学校にも頑張って行って、すごく充実していただろう。しかし中学生のときにマジックで大事故が起きてしまう。若くしてステージの舞台に立っていた詩音は師匠とともに大掛かりなマジックを披露するはずだった。ステージの準備をしてたときに、セットが落ちてきたのだ。その時師匠がそばでくれたおかげで詩音は何とか一命を取り留めた。しかし師匠はその時に事故で死んでしまった。あとから分かることだが、その事故は同業者たちが詩音達の才能に嫉妬して仕掛けた事故なのだ。当然そのときの詩音には分からないことだった。しばらく入院して、それから退院して師匠の遺志をついでマジックを一人頑張っていた。そして高校2年生のとき、詩音の運命は大きく変わることが起きた。いつもどおり練習場に向かって練習をしようとしていたとき、何者かに練習場を荒らされていたのだ。そいつらは同業者達で詩音を見た瞬間、暴力をしてきた。そして詩音の目の前で愛用しているマジック道具を壊して行ったのだ。事故のこともこのときに知った。詩音は力を願い、オーヴァードに覚醒する。そこで一度意識が飛んでいってしまった。次に目を覚ましたときには、自分は仮面をつけていて、地面には同業者達が倒れていた。同業者達は嘘つきめ……と言っていた。自分は未知の力に目覚めたかと思ってしまったのだ。その時一人の男が入ってきたが、詩音には見覚えがあった。なんと死んだはずの師匠だったのだ。師匠は元々オーヴァードだったのだ。そして日常の裏側を知ることになり、それでも詩音は師匠についていった。今は師匠とは独立をしており、今は一人で奇術師として生きている。